

教育委員会の動き～平成21年12月から平成22年1月までの活動について～

1 教育委員会の開催状況

- 平成21年12月から平成22年1月までに、3回の定例会を開催し、9件の議案と12件の報告について、審議等を行いました。その中から主なものをご紹介します。
- 議案** ■ 平成21年度東京都指定文化財の指定等の諮問について
- 報告** ■ 平成22年度東京都立高等学校入学者選抜における新型インフルエンザへの対応について
- 学校問題解決サポートセンターのこれまでの取組状況について
- 小1問題・中1ギャップの予防・解決のための教員加配について
- 平成21年度東京都教育委員会児童・生徒等表彰について
- 土曜日における授業の実施に係る留意点について
- 平成21年度第1回中学生「東京駅伝」大会の開催について
- 東京都若手教員育成研修について
- 平成22年度教育庁所管事業予算・職員定数等について

2 その他の活動

- 平成21年度東京都教育委員会職員表彰式^{※1}を開催しました。
(出席者：内閣委員、高坂委員、瀬古委員、大原教育長)
- ※1 都の教育の発展、学術、文化の振興に貢献し、その功績が顕著な教職員及び優れた教育実践活動・研究活動を行っている学校・グループを表彰しました。
- 平成21年度「日本の伝統・文化理解教育」実践発表会^{※2}に出席しました。(出席者：高坂委員)
- ※2 郷土や国に対する愛着や誇りをもち、国際社会で信頼される日本人を育てる「日本の伝統・文化理解教育」を一層推進するために開催しています。
- 原則として毎月第2・第4木曜日に教育委員会を開催しています。
東京都教育委員会ホームページに開催状況・会議録を掲載しています。



4月23日は「子ども読書の日」です。

家庭で意識して読書する時間を作りましょう。

休日の夜など、テレビを消し、ゲームもやめて、家族で読書をしてみると、時間がゆっくりと過ぎるのに気づきます。それぞれ好きな本を読んだり、昔話や読み応えのある物語を読み聞かせましょう。

家族がいつもいる場に本を置きましょう。

地図帳や辞典、物語などを身近に置くと、ニュースに出てきた知らない事柄を調べたり、ちょっとした時間に物語を楽しんだりできます。

お子さんと図書館に行きましょう。

多くの公共図書館では、お話をひらいたり、楽しい本の展示やブックリストを作っています。本棚を自由にめぐって、おもしろそうな本を探すのは、心踊る冒險です。

大人が本を読む姿こそ、本は楽しいという一番のメッセージになります。さっそく1冊手にとってみませんか。

※「子どもの読書活動推進に関する法律」により定められています。

都立多摩図書館のイベント

展示：「ほん・本・ごほんー魔女、おばけ、変身、ごちそう…48のゆかいなテーマと288冊の本」

小学生を中心に楽しめる288冊の本を、ゆかいなテーマごとに展示します。長く読みつがれた本や新しい本、ノンフィクションもあります。

なつかしいあの本を今度は親子で読んでみませんか？

★「ほん・本・ごほんクイズ」に答えて特製おもちゃをもらおう！

会場：都立多摩図書館 立川市錦町6-3-1
電話：042-524-6428

会期：平成22年4月2日（金）から6月2日（水）まで
時 間：午前9時30分から午後7時
(ただし土日祝日は午後5時まで)

休館日：4月18日、5月6日、5月16日 *入場無料



ご来場先着100名様に冊子「ほん・本・ごほん」を進呈

都立多摩図書館のこどもページ

<http://www.library.metro.tokyo.jp/c/index.html>

★ 図書館おすすめの楽しい本を紹介しています。

★「としょかんのひみつ」を公開中。



話してみよう あなたの心配～東京都教育相談センターのご案内～

子育て、いじめ、不登校など

電話 03(5800)8008
メール <http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp>
*ホームページからご利用ください。

平 日：午前9時から午後9時まで
土日祝日：午前9時から午後5時まで
その他の時間は、留守番電話で対応します。

いじめ相談ホットライン
電話 03(5800)8288
<24時間受付>

来所相談
申込みの方法：
「電話相談受付」までお電話ください。
受付電話番号 03(5800)8008

東京都教育相談センター 〒113-0033 東京都文京区本郷1-3-3
東京都教職員研修センター内

インターネットや携帯電話のトラブルに巻き込まれていませんか？

東京こどもネット・ケータイヘルプデスク

あれっ！いまクリックしちゃったけど大丈夫？ ネットで知り合った人から会いたいといわれたけど会っても平気かな？ メールでケンカしちゃった！なんて言えばいいかな…？ 自分の個人情報がのっている！どうしよう！

インターネットや携帯電話でのトラブル（ネットいじめ、架空請求、チェーンメール、出会い系などなんでも）で困ったときの相談窓口です。小中学生はもちろん、保護者・学校関係者などが無料で相談できます。ちょっとした悩みや不安でも気軽に相談できます！

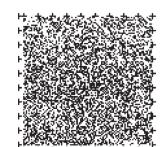
電話相談 電話番号 03-3500-5181
月曜日～金曜日 午前9時から午後6時まで
午前9時から午後5時まで
直接相談員に相談できます。

インターネット相談 ホームページ パソコンからも！ケータイからも！
「東京こどもネット・ケータイヘルプデスク」のホームページから相談ボタンをクリック
<http://www.tokyohelpdesk.jp/>
24時間受け付けます。

インターネット・携帯電話でのトラブルに子供たちが巻き込まれています。

平成20年7月に東京都教育委員会が実施した「子供のインターネット・携帯電話利用に関する実態調査」では、利用者のうち、およそ小学生の10人に1人、中学生の4人に1人がメール、インターネット等でのトラブルを経験していることが明らかになりました。

→ 携帯電話は、子供たちに本当に必要でしょうか。
持たせる場合には…
● フィルタリング機能を設定してください。
● 家庭で使い方のルールづくりをしてください。
授業等の妨げにならないように…
● 携帯電話を学校に持ち込まないでください。



とうきょうの教育 第91号 平成22年4月1日発行
○編集・発行
東京都教育庁総務部教育情報課 東京都新宿区西新宿二丁目8-1
電話 03(5320)6733 フax/fax 03(5388)1726
○デザイン・印刷 株式会社 イーパワー



11月の第1土曜日は「東京都教育の日」です

第91号
小学校版
平成22年4月

とうきょうの教育

東京都教育委員会

ホームページ <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>

東京都教育委員会(教育庁)では、都民のみなさまからの提言やご意見・ご要望をメールで受け付けておりますので、お寄せください。

お子さんの生活習慣に気を配っていますか？



早起きをする 朝食を毎日食べる 計画を立て勉強する 持ち物の準備をする 早寝する

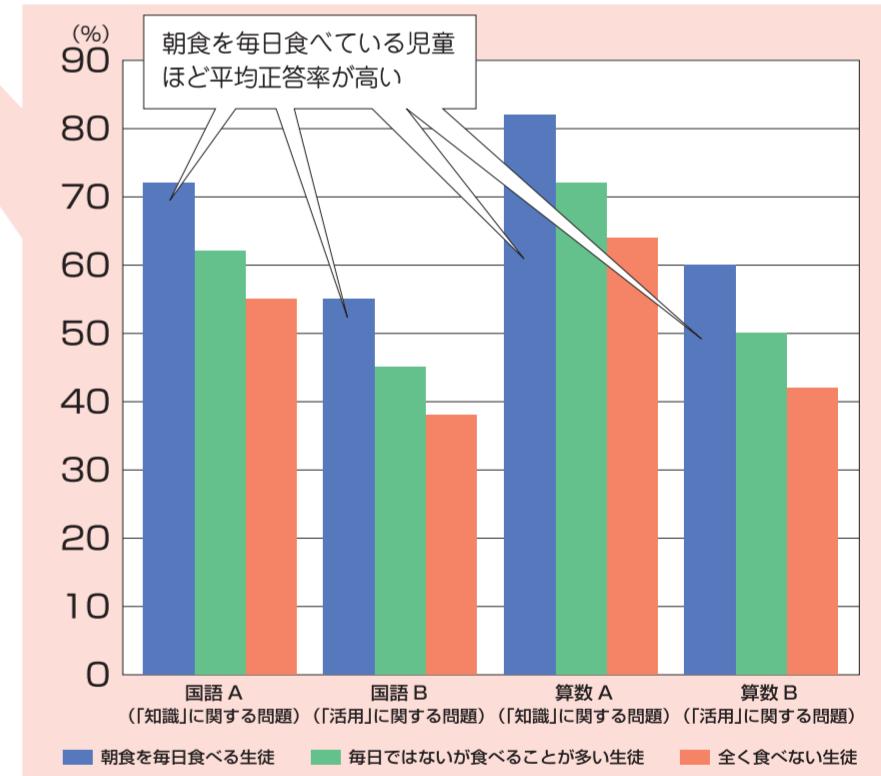
生活習慣が確立された子供ほど学力が定着していることが明らかになっています。

平成21年4月21日に実施した「平成21年度 全国学力・学習状況調査」では、国語・算数の両科目とも、基本的な生活習慣や学習習慣が確立された児童ほど平均正答率が高いという結果が出ました。

右のグラフは、朝食を毎日食べている児童、毎日ではないが食べることが多い児童、全く食べない児童の、国語・算数両科目の平均正答率を比較したものです。青い棒グラフで示した朝食を毎日食べている児童は、それ以外の児童と比べ、平均正答率が高くなっています。

同様に、家で自分で計画を立て勉強する児童、学校に持っていくものを、前日か、その日の朝に確かめている児童、早起きをする児童も、学力・学習状況調査の平均正答率が高くなっています。

▶朝食を毎日食べている児童・毎日ではないが食べることが多い児童・全く食べない児童の平均正答率の比較



お子さんの生活習慣を確立する手助けをしましょう。

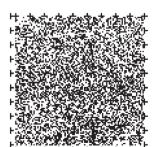
例えば…

家のなかで、「十分、睡眠はとれているの？」 「今、どんな学習をしているの？」などと声をかけるようにしましょう。

朝、学校に出かける前に、「もちものを確かめたかな？」 「下校は何時かな？」などと声をかけるようにしましょう。

全国学力・学習状況調査の結果はHPにも掲載されています。URLはこちらです。
<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr091022g.htm>

このパンフレットの内容を音声で聞くことができます。
このパンフレットの内容を音声コードで添付しています。音声コードは活字文書読み上げ装置で読み上げることができます。



平成22年度 東京都教育委員会の主要事業

東京都教育委員会は、平成20年5月、「東京都教育ビジョン（第2次）」を策定しました。このビジョンの中で、社会全体で子供の教育に取り組むことや子供たちの「生きる力」をはぐくむことなど、東京都が目指すこれから の教育を実現するため、今後、中期的に取り組むべき教育の方向性を示しています。

「東京都教育ビジョン（第2次）」の施策展開の3つの視点に基づいて、東京都教育委員会が平成22年度に 実施する主な事業のうち、小・中学校に関連した事業をご紹介します。

視点1 家庭や地域の教育力向上を支援する

■ 小学校との連続性を踏まえた就学前教育の充実

乳幼児期から就学期までの子供の発達や学びの連続性を踏まえ、小学校入学までに培いたい、生活習慣や態度、表現力、豊かな感性などについて、各年齢に応じた教育内容や方法を具体的に示した就学前教育カリキュラムを作成します。また、幼児の保護者が小学校を参観する機会の啓発や、教員と保育士と一緒に取り組む研修の実施など、保育所・幼稚園と小学校との連携を推進します。

■ 公立学校における食育の推進

子供たちに偏った栄養摂取や朝食欠食等の食生活の乱れ等が見られるため、栄養教諭を計画的に配置するなど、栄養教諭や食育リーダー等を活用した食に関する指導を充実させます。



視点2 教育の質の向上・教育環境の整備を推進する

■ 外部人材の教育活動への積極的な活用

補習や中学校「武道・ダンス」の指導に退職教員等の外部人材を活用して、公立小・中学校の教育活動を充実させます。

■ 放課後子供教室等の推進

放課後子供教室の小学校等への設置を引き続き促進するとともに、都立の特別支援学校における児童・生徒の放課後の居場所づくりを推進し、安全・安心な居場所を確保します。

■ 特別支援教育の推進

東京都特別支援教育推進計画第三次計画を策定し、障害のある幼児・児童・生徒の一人一人の能力を最大限に伸長するため、乳幼児期から学校卒業後ま



☆子供たちの学力向上に向けて☆

子供たちに「確かな学力」を身に付けさせるため、東京都教育委員会が進める 主な取組をピックアップしてお知らせします。

■ 「確かな学力」の定着と伸長

今年度から小学5年生、中学2年生を対象とし、これまでの学力調査の結果から明らかとなった課題を解決するために「読み解く力に関する調査」を実施します。調査の結果はさらなる授業改善に役立てていきます。

■ 补習の充実

退職教員、非常勤講師、大学生等を活用して、公立小・中学校における土曜日の補習を充実させます。

■ 小1問題・中1ギャップの予防・解決のための教員加配

入学直後の学年（小1、中1）において、学習規律の確保、学校不適応への対応のため、児童・生徒数による一定の規模を満たす場合に学校に教員を配置し、児童・生徒が学力を身に付けるまでの基盤を構築します。

■ 若手教員の育成

小学校の新規採用教員を育成するため、再任用教員を100名（予定）配置します。また、採用から3年間の「東京都若手教員育成研修」を都内公立学校において実施します。

子供たちの確かな学力の育成

☆子供たちの体力向上に向けて☆

子供の体力低下、学習指導要領の改訂、平成25年東京国体の開催などを踏まえ、学校体育充実のための主な取組をピックアップしてお知らせします。

■ 総合的な子供の基礎体力向上方策(第一次推進計画)

上記主要事業一覧に掲載されている事業をはじめ、「1校1取組・1学級1実践」を推進し、学校においては児童・生徒の体力向上を教育課程に位置付け、具体的な取組を展開します。



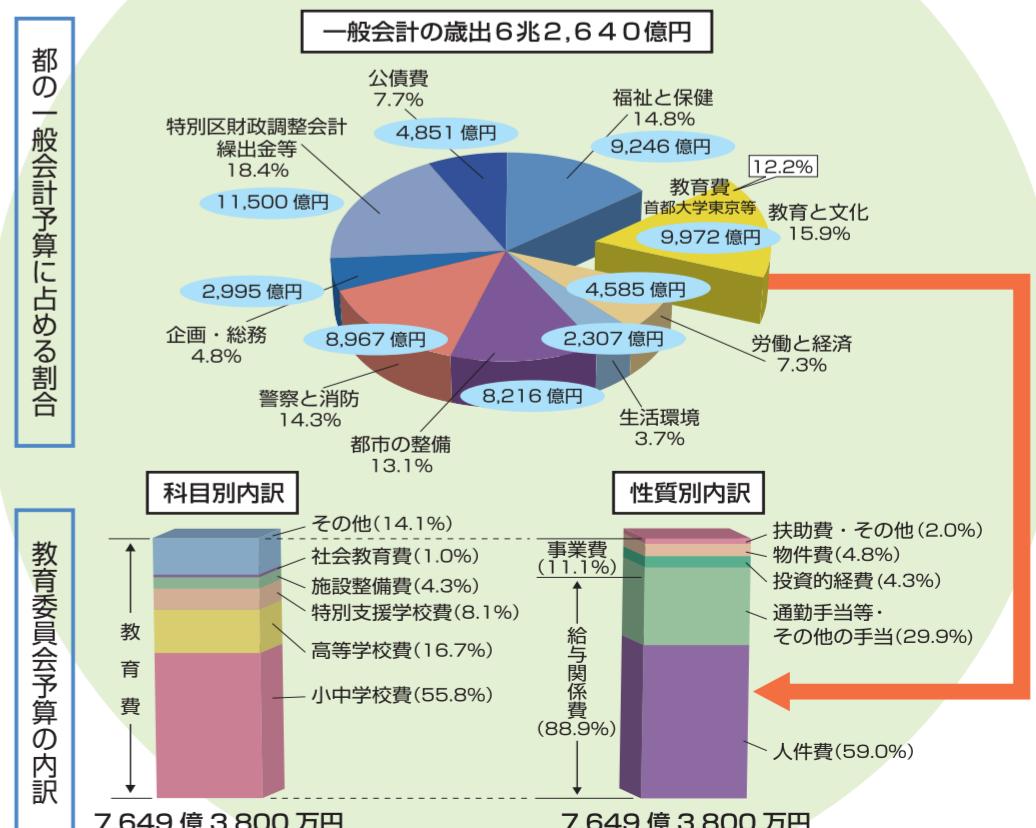
■ スポーツ教育の推進

スポーツ教育推進校を300校指定し、体育授業の充実や体力向上に向けた特色ある取組によりスポーツ教育を推進します。

子供たちの心と体の健やかな成長

平成22年度 教育予算と都の一般会計

平成22年度の教育委員会の予算総額は7,649億3,800万円で、都の一般会計予算6兆2,640億円の約12.2%を占めています。



平成22年度 主要事業予算
計 699億4,300万円

